



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGsアクション

宣 言

「みんなで力を合わせて、笑顔で暮らせるまちにします！」

計 画

【町内会と共に】

町内会の方々と花を植え、育てることで、自分たちの住むまちへの愛着を深める。

【社会科】

「ごみはどこへ」の学習で、家庭や学校から出たごみがどのように集められ、どこへ運ばれて処理・リサイクルされるのかを学ぶ。

【総合的な学習の時間】

「ホタルの会」の方々を招き、ホタルが住める生態を学ぶことで、身近な環境について考える機会とする。環境2次として、地球温暖化についての学習を行い、温暖化を防ぐために自分たちでできることを考える。

高学年では、様々な視点に立って北海道の現状や課題を調べ、北海道の未来について、自分たちにできることを提案していく。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



SDGs アクション

「花いっぱい運動」

毎年、町内会よりたくさんのきれいなお花をいただいています。「お花を受け取るセレモニー」を行い、3・4年生児童が代表して参加しました。いただいたお花は、各学年でプランターや学校前の歩道に植え替え、毎日水やりをしています。玄関前のつどいの広場と学校前の歩道が花いっぱいになりました。今後も町内会の方々と一緒に活動することで、自分たちの住むまちへの愛着を深めるようにします。

「身近な環境から地球環境へ」

清掃事務所の出前授業では、4年生が「ごみの分け方・出し方・減らし方」の学習をしました。ごみの分別やリサイクルに関心をもち、自分たちにできることを話し合い、実践しています。4年生は、総合的な学習の時間で、ホタルの学習をきっかけに、自然環境の保全に関わる人々の取組や思いが、自然環境を守ることにつながっていることを学びました。地球温暖化についても調べ、身近な環境から地球規模で起きていること、自分たちにできることについて考えました。

「北海道のよさを考えよう」

人口減少や再生エネルギー問題、クマやシカによる獣害、観光産業による地域づくりなど、北海道の現状や課題を一人一人が調べました。北海道には豊かな自然環境がたくさんあることや、安全で質の高い食料生産、魅力的な観光地など、よさや強みがたくさんあることがわかり、自分たちが今からできることを考えて提案しました。

次年度の取組に向けて

これまでの取組を継続していきます。引き続き、町内会の方々と一緒に活動することで、自分たちの住むまちを大切に思う気持ちを育んでいきます。総合的な学習をきっかけに、身近な環境から地球環境へ目を向けられるようにしていきます。高学年では、地域の範囲を広げた学習を通して、自分たちの力で、自分たちの生活を守っていくことの大切さを学び発信できるようにしていきます。